

令和5年度島根県認知症介護実践研修「実践リーダー研修」の実習について

1. 職場実習の課題設定

- OJT 対象者の認知症ケア能力の評価方法を理解し、実習計画を立案します。

2. 職場実習

- 職場においてチームリーダーとして、自己の設定した課題の達成を目指しその成果を得ることを目的とし、実習に取り組みます。
- 「職場実習計画書」に基づき、4週間の実習に取り組めます。

<所属長(管理者)様へのお願い>※必ずお読みください

- 各所属におかれましては、受講者が上記実習に取り組む際には、業務(勤務)等の調整、職場実習における課題への取り組み等、本研修の効果的な実施にご協力をお願いします。
- 本研修は実習を含め、約4か月と長期間にわたる研修となります。研修期間中、受講生の同法人内での異動がありますと、実習の継続が困難になりますので、その点、ご配慮願います。
- 職場実習は、実習期間、実習課題等を他の職員にも周知した上で、リーダーとなる受講者を中心に、設定された課題について施設・事業所職員全体で取り組んでいく必要があります。特に実習担当上司様には、職場へのご配慮、また課題の実行や受講者本人への支援等について最大限のご協力をお願いします。なお、実習中に疑問が生じた場合等については、担当講師が実習担当上司様からのご相談にも応じます。
- 実習にあたって、計画書・報告書等の提出がありますが、所属長・担当上司様の確認欄・コメント記入欄を設けておりますので、その都度ご協力をお願いします。
- 上記実習については、本研修の中で重要な位置を占めています。従って、実習が確実に履行されていない、また、受講態度等が不適切であると判断される場合などは研修中止となり、修了証書が発行できない場合がありますのであらかじめご了解ください。取り組みや報告に不十分な点があった場合は、報告書の再提出・再実習を指示する場合があります。
- 新型コロナウイルス・インフルエンザ・体調不良等で、実習が中断した場合は必ず事務局まで連絡をお願いします。